

# 報道資料

令和4年3月30日(水)

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:大西・野坂  
電話:0742-27-8653(ダイヤルイン)内線:3110、3111

## 新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について （公益財団法人天理よろづ相談所病院第3報（最終報））

公益財団法人天理よろづ相談所病院において、これまでに入院患者 27 名、職員 33 名 計 60 名の感染が判明しました。感染状況から、入院病棟 A 及び入院病棟 B において、クラスターが発生したと考えられます。

感染拡大の原因は、職員が患者に接する際の感染防御が不十分であったこと職員同士や患者への感染対策に対する注意喚起が十分でなかったことと推定しています。

当該医療機関では、職員の健康管理の徹底や感染防御策の更なる徹底（職員休憩室の利用方法の見直し、トイレなど共有箇所の清掃や換気の徹底）などの再発防止策を講じたところです。

また、病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、当該医療機関における院内感染事案は終結し、本日（3月30日）から、公益財団法人天理よろづ相談所病院は、すべての病院機能を再開します。

### 1 発生場所

公益財団法人天理よろづ相談所病院（所在地 天理市三島町200）

### 2 感染者の概要（合計 60 名）

- 経緯:入院病棟A 2月28日に1例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から28例の感染を確認。  
入院病棟B 3月3日に1例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から30例の感染を確認。
- 感染者内訳:入院患者27名、職員33名(医師4名、看護師26名、看護助手1名、介護福祉士2名)  
男性24名、女性36名  
20代21名、30代8名、40代5名、50代1名、60代4名、70代10名、80代11名  
<内訳>

	入院病棟A	入院病棟B
入院患者	9名	18名
医師	-	4名
看護師	17名	9名
看護助手	1名	-
介護福祉士	2名	-
合計	29名	31名

※第2報(令和4年3月11日)以降 新たに入院患者4名、職員7名の感染が判明しています。

### 3 県の対応

- 入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示

#### 4 病院の対応(3月30日10時時点)

- ・関係箇所の消毒実施
- ・病棟Aの新規入院を再開(休止期間:3月1日~3月29日)
- ・病棟Bの新規入院を再開(休止期間:3月4日~3月22日)

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。